



# SUZUKA 8h ENDURO

2023

2023  
11/3

開催日

(金・祝)

第24回 スズカ8時間エンデューロ

定員制・三重県 鈴鹿サーキット



## 大会プログラム

主催

スズカ8時間エンデューロ実行委員会

企画・運営

株式会社マトリックス

協力

三重県自転車競技連盟  
ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット  
南船場スポーツグラスサロン 眼' z

ナスコ株式会社  
Sports MC DJ PA Team 'REAL'  
株式会社キャバクリエイション

# 大会の象徴・8時間エンデューロとアタック240が復活！ パワー全開スズカ8時間エンデューロ

エンデューロファンの皆さん、お待たせしました！2023年スズカ8時間エンデューロは、久しぶりに8時間エンデューロとアタック240が帰ってきて「完全復活」します！日本のサイクルエンデューロの草分け的大会として2000年に始まり、今年で24回目となる本大会。上位入賞や自己ベストの更新など体力や脚力に応じた目標を持って走れるほか「ビギナーも楽しめる大会」として、多くの皆さんに支持されてきました。

今回の種目は8時間と4時間のエンデューロとアタック240。エンデューロは規定時間内の周回数を競うレースで、アタックは規定の距離（鈴鹿サーキット国際レーシングコース40周＝約240km）を制限時間内に単独で完走することを目指す種目です。

エンデューロの競技時間は8時間や4時間と長めですが、選手交代やピットでの休憩もOK。周回遅れになっても走ることができるので、速く走りたい人ものんびり走りたい人もそれぞれのペースで走ることができます。今回8時間はチームのみ、4時間はソロとチームでの参加が可能で、8時間には今年から45歳以上のクラスが新設されました！チームで参加すれば一人あたりの走行時間は短くできるので、その分サイクルバザールで買い物や試乗を楽しんだり、レース後に鈴鹿サーキットの遊園地で遊んだりという楽しみ方もできます！



OKです！ 仮装しての参加も可能で、多くの人が仲間と楽しく走ることを目標にしています。

あなたもこの秋、スズカ8時間エンデューロに参加して、サイクリストの秋祭りを一緒に盛り上げませんか？



開催日

2023

11/3 (金・祝)

定員制 / 会場：三重県鈴鹿サーキット  
大会プログラム

鈴鹿8時間エンデューロ大会事務局

〒592-0012 大阪府高石市西取石7-7-33

TEL (072) 340-1693 (平日 10:00 ~ 17:00)

FAX (072) 340-1698

mail [suzuka8h@powertag.jp](mailto:suzuka8h@powertag.jp)

web <https://suzuka8h.powertag.jp/>

主催 スズカ8時間エンデューロ実行委員会

企画・運営 株式会社マトリックス

協力 協力三重県自転車競技連盟 / ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット / 南船場スポーツグラスサロン 眼'z ナスコ株式会社 / Sports MC DJ PA Team 'REAL' / 株式会社キャパクリエーション

# contents

協賛各社・大会役員・実行委員 ..... 3  
 実施競技 ..... 3  
 大会スケジュール ..... 4  
 入場からスタートまでの流れ ..... 5  
 会場案内 ..... 6  
 スタート・ゴールレイアウト図 ..... 7  
 選手の皆様へご案内 ..... 8  
 ピットエリア・観戦エリアについて ..... 9  
 サクリストの心得&マナー ..... 10  
 コース紹介 ..... 11

競技方法 ..... 12  
 競技規則・競技者の装備・公式記録 ..... 13  
 車両規定について ..... 14  
 表彰について ..... 16  
 メカニックサポート ..... 17  
 レース経過速報 ..... 17  
 パワータグとゼッケンの取り扱い ..... 18  
 イベントのご案内 ..... 20  
 MC紹介 ..... 22  
 ホストチーム紹介 ..... 23

## ご協賛各社 (50音順・敬称略)

アールケー・ジャパン株式会社	ゼータレーディング有限公司
RGTエンタープライズ	ネックス
outré	株式会社パールイズミ
アスリチューン	VALETTE
イナーメ・スポーツアロマ	FEELCAP
インターマックス	FOOTMAX
ヴィブロス	FULLMARKS
apt'	BOMA
OGK KABUTO	株式会社ポディウム
カルノパワー	マヴィック
カワシマサイクルサプライ	Mag-on
GOKISO	Muc-off
サイクリストの秘密ラボ・flasco	MERIDA
株式会社 三共社	ヨネックス
CGN JAPAN	Rencontre (ランコントロール)
スポーツキッド	株式会社Re・蘇
(一社)スポーツアロマ・コンディショニング	WAKO'S

## 大会役員・実行委員

大会名誉会長	辻 義光
大会会長	安原 昌弘
大会副会長	吉村 慎一
大会実行委員長	大鳥居 雅
競技本部	待田 浩一
決勝審判	三重県自転車競技連盟
コースマーシャル	吉田 大輔
実況アナウンサー	スポーツMCコウゼン (Team REAL)
	絹代
計測・記録	森田 陽介
選手受付	灘 幸宏
式典	高橋 仁
広報	仙頭 康廣
救護	穂崎 泰宏
撮影	高田 健司

## 実施競技

※参加資格はすべて大会当日の学年を適用します。  
 ※競技に使用する自転車はすべて車両規定 (P14 ~ 15) に準ずるものとします。

種目名	カテゴリー	表彰カテゴリー		使用自転車	参加資格	ゼッケン色
		ソロ	チーム			
8時間 エンデューロ	ロード	-	○	車種制限なし	中学生以上の男女	白
	ロード 45+	-	○		45歳以上の男女 ※1	
	男女混合 ※2	-	○		中学生以上の男女	
4時間 エンデューロ	ロード	○	○	ロード他 ※3	中学生以上の男女	ソロ：黄 チーム：青
	WOMEN	○	-	車種制限なし		
	フラットバー・リカンベント	○	○	フラットバー付のMTB、 クロスバイク、ミニサイクル など、リカンベント ※4		
	男女混合 ※2	-	○	車種制限なし		
	ママチャリ	○	○	市販の前かご付ママチャリ		
ファミリー ※5	-	○	車種制限なし	小学生以上の男女		
アタック240	男女	○	-	車種制限なし	中学生以上の男女	赤

※1 45+：チーム内全員が45歳以上であること。

※2 男女混合：女性1名以上を含むこと。

※3 ロード他：チーム内でロード（ドロップハンドル）が1台でも含まれている場合はこのクラスに参加。

※4 フラットバー・リカンベント：チーム内すべてがフラットバーであること。ミニのドロップハンドルは不可。

※5 ファミリー：19歳以上女性と中学生以下の各1名を含む。19歳以上男性1名とその他メンバーが中学生以下である場合は可。ただしチーム内で19歳から59歳の男性は1名まで。



# 大会スケジュール

- 大会当日はAM0:00～モータースポーツゲートを開門します。入場の際は「参加確認証」、または右記の「観戦入場券」をスマホなどに表示（プリントアウトでも可）してご掲示ください。車両は「パドックパス」をご掲示ください。
- エンデューロのライダーズミーティングには各チームの第1走者が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。
- タイムスケジュールは都合により変更する場合があります。



スマホでアクセス  
観戦入場券



※この観戦入場券で鈴鹿サーキットパークへの入場はできません

**0:00～** サーキット駐車場・第7駐車場入場  
シャトルバスは5:00より運行  
モータースポーツゲート入場

**5:00～** 開門・受付開始（ピットNo.45-46）  
ピットエリア・テントエリア開放

※開門前はフェンスで閉鎖されています。  
入場後は5:00の一斉開門まで待機してください。  
※受付はスタート30分前までに済ませてください。

**6:20～** ロードレース講習会

開始5分前までに表彰会場に集合

❗ 例年と集合場所が違いますのでご注意ください

**6:30～7:15** 試走

本コースを初めて走る方や初者は必ず試走してください。参加者以外は走行できません。コースインは7:15まで。

**7:20～** 選手招集（先着順）

ソロ選手およびチームの第1走者は集合エリアにお集りください。8時間エンデューロとアタック240はピットロード出口、4時間エンデューロはピットロード入口が集合エリアになります。  
〈スタート・ゴール レイアウト図 → 7P〉

**7:30～** 選手コースイン

各集合エリアより誘導に従い順次コースインしてください。

**7:45～** ライダーズミーティング

コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

**8:00～** 8時間エンデューロ スタート（終了時間 16:00） / アタック240 スタート

**8:03～** 4時間エンデューロ スタート（終了時間 12:03）  
ピットロード閉鎖・シケイン含む  
（入口：各競技終了5分前～出口：各ゴール時刻より20分間）  
※ピットロード閉鎖の時間帯は選手交代できません。

**12:30** 4時間エンデューロ 表彰式・じゃんけん大会

**16:30** 8時間エンデューロ /アタック240 表彰式・抽選会

- 8時間エンデューロ /アタック240ゴール時、仮装チームメンバー全員でゴールできるパフォーマンスパレードを実施します。
- 4時間エンデューロ終了後のじゃんけん大会はどなたでも参加可能です。
- 抽選会は、8時間エンデューロ /アタック240終了後に1回実施となります。抽選券をお持ちの方のみご参加いただけます。
- お帰りの際は会場内の荷物は全て撤去してください。

第7駐車場から入場

入場：AM0:00～

第7駐車場～会場間のシャトルバスを運行いたします。



シャトルバス運行時間（予定）  
第7駐車場発 5:00～9:00  
会場発 14:30～18:00

モータースポーツゲートから入場

入場：AM0:00～

※入場経路など詳細は次ページ（5P）をご確認ください。

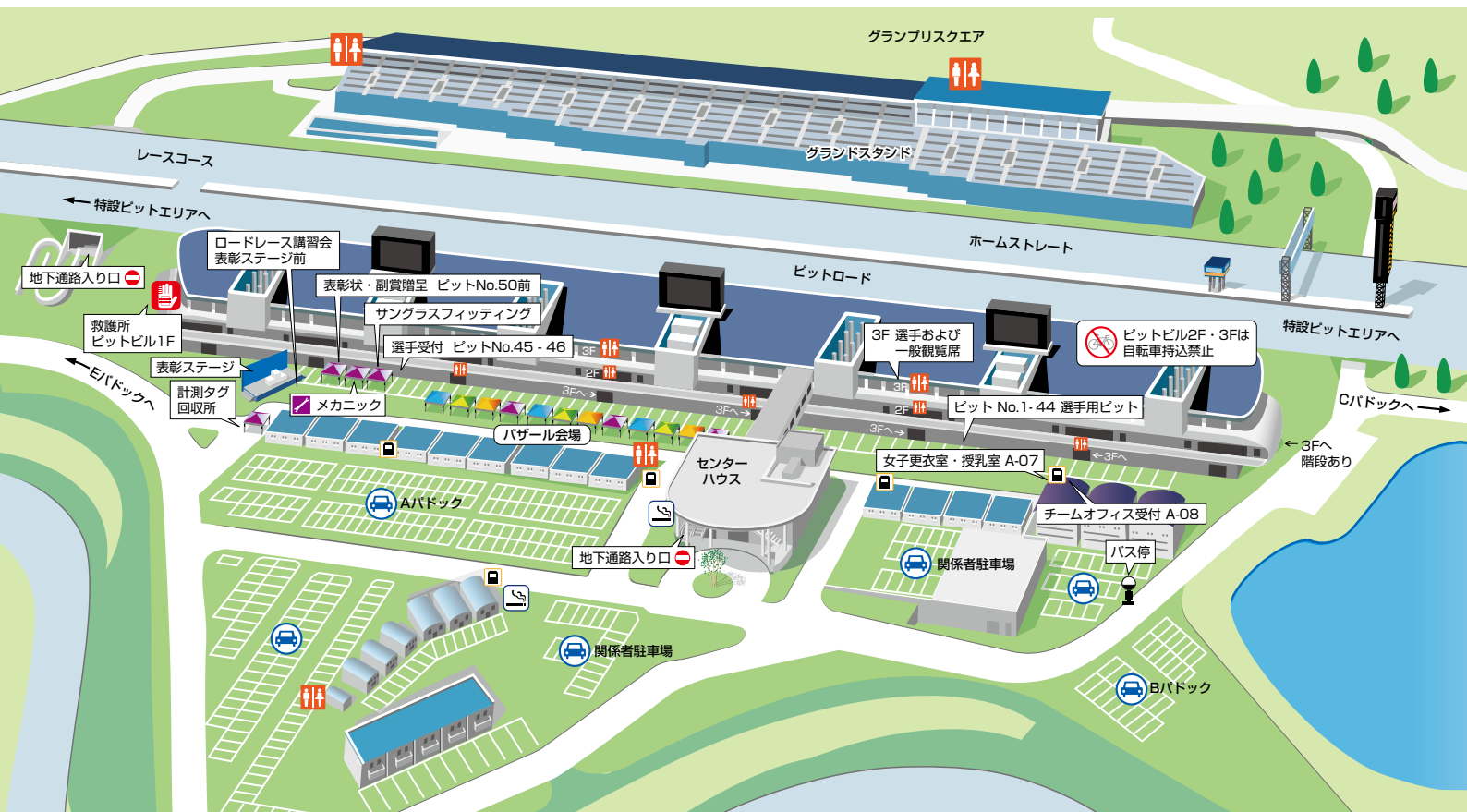


# 入場からスタートまでの流れ

<b>1</b> 鈴鹿サーキットへの入場 (パドックパス) <b>0:00 ~</b>	モータースポーツゲート、第7駐車場 (1日1,000円) とともにAM0:00入場です。 第7駐車場をご利用の方はシャトルバスか自転車、徒歩で会場方面へお越しください。
<b>2</b> ピットゲートから会場へ <b>5:00 ~</b>	ピットゲート (3カ所) はフェンスで閉鎖されています。入場後は時間までパドックで待機してください。AM5:00より開門、選手受付を開始します。
<b>3</b> 受付 (計測タグ・ゼッケン受取) <b>5:00 ~</b>	AM5:00より受付開始します。代表者1名が参加確認証を持って、ピットNo.45-46の受付までお越しください。計測タグとゼッケンをお渡しします。
<b>4</b> 試走 <b>6:30 ~ 7:15 ~</b> コースインは7:15まで	AM6:30 ~ 7:15の試走時間を利用しコースを確認してください。 AM6:20よりチームマトリックスによる安全講習会を行います。走れる準備をして、開始5分前までに表彰会場へお越しください。
<b>5</b> 招集・コースイン <b>7:20 ~</b> チームの場合は第1ライダーのみ	ピットレーンにて2カ所で招集を開始します。8時間エンデューロとアタック240はピット出口側、4時間エンデューロはピット入口側にお集まりください。後方よりゆっくりスタートされる方は、コースインのタイミングでコースにお集まりください。
<b>6</b> スタート <b>8:00 ~</b> (8時間/アタック) <b>8:03 ~</b> (4時間)	8時間エンデューロ / アタック240を先頭に時差スタートとなります。メンバー交代、休憩の場合はピットエリアを利用してください。



# 会場案内



## ！ 遊園地内は自転車持ち込み禁止

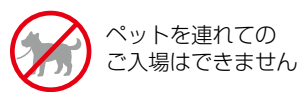
自転車を遊園地内に持ち込むことは禁止されています。一般のお客様のご迷惑になりますのでご注意ください。

## ！ 鈴鹿サーキットパークとの往来について

鈴鹿サーキットパーク～レース会場の往来は「鈴鹿サーキットパーク入園券」または「パスポート」所有者のみ可能です（開園時間帯のみ）。大会発行の「参加確認証」や「観戦入場券」での行き来はできません。第7駐車場から鈴鹿サーキットパークへの入場もできませんのでご注意ください。

## ！ ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込禁止

ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込みは禁止されています。自転車は1Fのピットロード周辺かパドック側に、バイクラックやスタンドに止めて施錠するなど、各自で管理してください。



ペットを連れてのご入場はできません



**喫煙場所**  
喫煙は所定の場所です



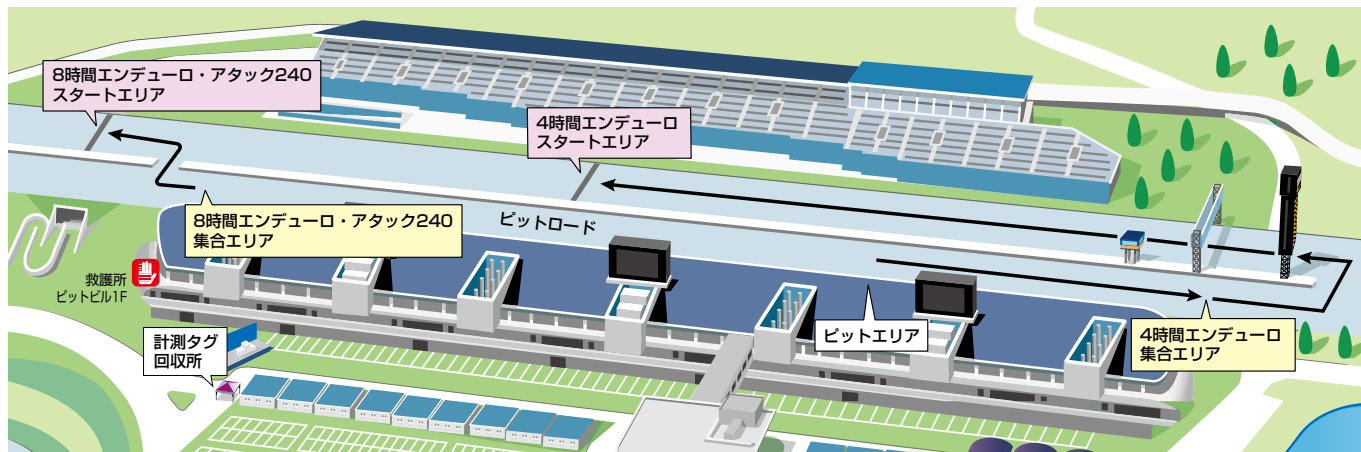
**ゴミ箱設置場所**  
ゴミの分別にご協力ください

**会場内火気厳禁**



# スタート・ゴール レイアウト図

## 集合・スタートエリア 〈8時間エンデューロ・4時間エンデューロ・アタック240〉

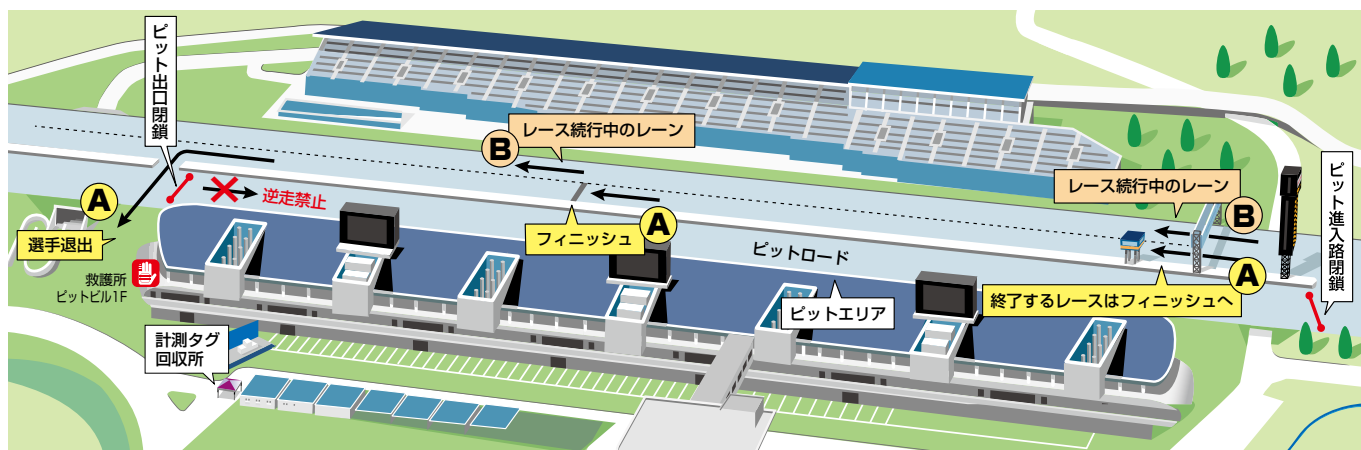


### ●ライダーズミーティング 7:45 ~

※コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

- 8時間エンデューロ・アタック240 スタート 8:00 ~
- 4時間エンデューロ スタート 8:03 ~

## フィニッシュ 〈8時間エンデューロ・4時間エンデューロ・アタック240〉



- 4時間エンデューロ ゴール 12:03
- 8時間エンデューロ・アタック240 ゴール 16:00

競技が終了した選手は上図の「**A** 終了するレースはフィニッシュへ」ラインを走行し、フィニッシュ後は退出してください。レース続行中の選手はコース右側の「**B** レース続行中のレーン」を走行してください。

### ●ピットロード閉鎖

終了するレースの選手がゴールしている時間帯（入口：各競技終了5分前～ 出口：各ゴール時刻より20分間）はピットロードを閉鎖します。この間レース続行中の選手はピットロードに進入できません。

※シケイン特設ピットでも実施。

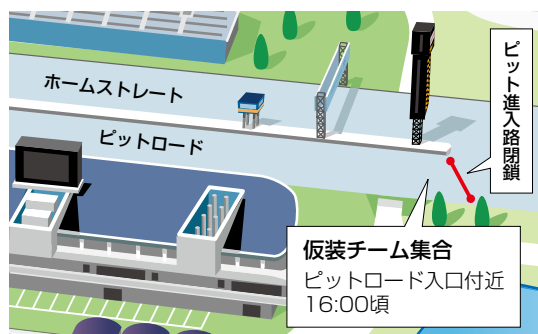
※競技が終了した選手はピットの荷物などを片付けて、競技中の選手に場所を譲るようにしてください。

※自動計測器「パワータグ」の返却

チームオフィス横に「パワータグ回収所」を設けています。レース終了後には必ず返却してください。

※仮装チームメンバー全員でゴールできる「パフォーマンスパレード」を実施します。コスプレなどのパフォーマンス賞狙いで、ゴールタイムにこだわらないチームは、最終走者とともにメンバー全員で最後のアピールができます。8時間エンデューロ/アタック240が終了する16:00頃に、チーム衣装を着用して自転車に乗って、閉鎖したピットロード入口付近（図）にお集りください。

※パレードは種目を問わず仮装した参加者であればどなたでも参加できます。ヘルメットは必ず着用してください。



# 選手の皆様へご案内

## 試走（参加者以外は不可）AM6:30～7:15

初心者や鈴鹿サーキットコースを初めて走られる方は、必ず試走してください。路面状況やコーナーの曲がり具合を事前に知っておけば安心して走れます。

## コース使用の注意

コースは試走時間およびレース以外での自転車の乗り入れはできませんのでご注意ください。

## ヘルメットの着用

試走およびレースでコースを走行する場合は必ずヘルメットを着用してください。（ヘルメットは日本自転車競技連盟公認のものでなくても結構ですが、ご自身の責任で判断してください）

※ヘルメットは転倒時に外れないよう、アゴひもをしっかり固定してください。

※グローブなど安全装備の着用を強く推奨します。

## 場内アナウンス

大会運営上の変更点のお知らせや緊急の呼び出しなどは場内アナウンスを使用しますので、速やかな対応をお願いいたします。

## インフォメーションボード

今大会インフォメーションボードは設置いたしません。レース結果はスマートフォンやタブレットなどから〈LAP CLIPウェブサイト〉でご確認ください。

## 授乳室

ピット裏のチームオフィスに授乳室を設けています。赤ちゃんやお母さんの休憩にご利用ください。（P6参照）



## トイレ

トイレは鈴鹿サーキットのピットビルやチームオフィスなどの施設にあります。

## 喫煙場所

会場での喫煙は、所定の喫煙場所でしてください。ピット、パドックほか会場内での火気は厳禁です。

## チームカー専用駐車場

パドックパーキングパスで入場したチームカーはA・B・C・Eパドックの指定の場所に駐車してください。

※テントやテーブル、機材などで駐車場を使用することは禁止です。

## チームピット

チームのピットNo. は参加確認証に印字されています。各チームは指定されたチームピットを使用してください。（ピットエリアはテント、タープ禁止。火気厳禁）

## 接触や追突に注意

競技の性質上、コース上にスピードの異なる走者が同時にたくさん走るようになります。接触や追突などに十分注意し、お互いにマナーを守ることを心がけましょう。

## 走行中のマナー

### ！ 他の選手の衣装や体には絶対触らないこと

選手はレース中に走行レーンを守って他の選手に迷惑をかけるようにしてください。特に他の選手にむやみに接近したり、衣装や体に触れることは危険です。絶対にしないでください。これらの行為で恐怖を感じたり、また転倒して大きな事故に至ることもあり得ます。みんなが気持ちよく走れるよう心がけましょう。

## ご使用いただける車両・付属品など

使用可能な自転車、付属品や装備品、使用禁止のご注意点については〈車両規定について〉P14～15にまとめています。併せてご覧ください。

## 競技中の禁止事項

走行中のビデオ・写真や撮影の操作、走行中の携帯電話の操作、携帯プレーヤーなどで音楽を聴きながらの走行は危険です。お止めください。

※大会主催者が認めた場合を除いて、営利を目的とした動画および写真撮影を禁止します。

## 小型無人飛行機等の禁止

サーキット施設内で許可なく小型無人飛行機等（ドローン・ラジコン等）の操縦・飛行等の行為を禁止します。

## スポーツ傷害保険について

参加者全員を対象に傷害保険（通院日数×2,400円、入院日数×3,500円、死亡後遺障害300万円）に加入しています。この補償内容で不十分な方は、各自で別途加入してください。

なお、競技中に起きた事故については、たとえ軽傷であっても、必ずその日のうちに救護所に申告してください。当日連絡できなかった場合は、2日以内に代理店へ連絡してください。連絡がない場合は保険金が支払われません。

●スポーツ傷害保険 代理店 株式会社保険コンシェルジュ  
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル5階  
TEL (06) 6227-8935 FAX (06) 6227-8936

## 貴重品の管理

大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。

## お問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは選手受付にて対応いたします。



# ピットエリア・観戦エリアについて

## 特設ピットエリア

シケイン付近のコースサイドと第1コーナー側のコースサイドに特設チームピットエリアを設けます。テントなどを持参してチームピットとして使用できます。コースサイドのピットエリアなのでスムーズな選手交代が可能です。

特設ピットエリアは係員の指示に従って主催者が定めた区域を使用してください。

特設ピットエリアの使用時間はピットオープン～PM6:00までです。この時間外に残されているテント、備品などはすべて撤去いたします。

※今大会、パドック内の特設テントは設置いたしません。

## ▼ ホームストレートピットエリアの配置



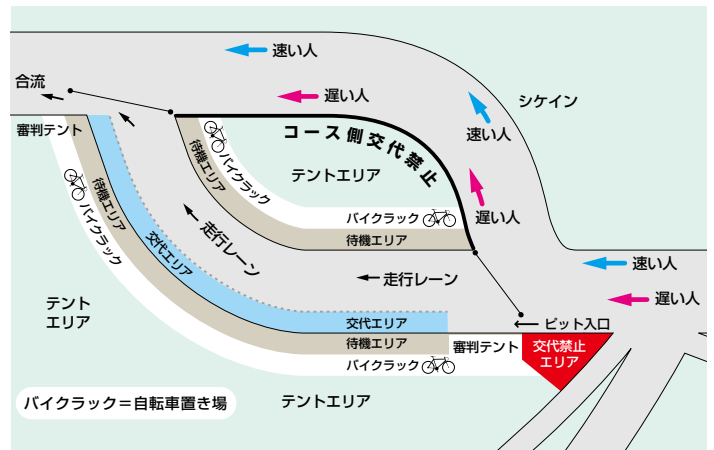
## ▼ シケイン特設ピットエリア図

### チーム特設ピットエリア (シケイン)

シケインに設けられた特設ピットエリアの入り口と出口には審判テントを設置し、公正なレース運営にあたります。このピットエリアは、本大会が特別に定めたピットエリアです。このためピットへの入り方や出口から本コースへの合流など、注意が必要です。また、参加選手は走行レーンや待機エリア、バイクラックエリア、テントエリアなどの区域を十分認識していただき、お互い協力して安全で楽しいレースに心がけてください。

※シケイン特設ピットでもピット閉鎖を行いますのでスタッフの指示に従ってください。

※シケイン特設ピット付近にテントを張る場合は決められた場所に設置してください。



## 観戦エリアについて

スズカ8時間エンデューロではギャラリーの皆様楽しく安全に応援・観戦していただくために観戦エリア(図の黄色いエリア)を定めております。

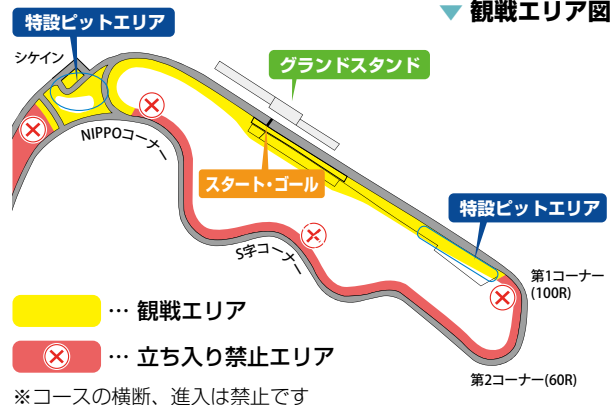
コースサイドでの応援・観戦は危険を伴うことがありますので指定された観戦エリア内で十分注意して観戦してください。

特にインコース側では、選手はコースの端ぎりぎりを走行してきますので、応援はコースから離れたところでしてください。

ピットエリアでは応援・観戦のマナーをしっかり守ってください。

ピットロードを横断する際は必ず選手が走ってきていないことを確認して渡ってください。

## ▼ 観戦エリア図



# サイクリストの心得&マナー

レースはルールによって成り立っている競い合いです。一番大切なのは、他のサイクリスト(仲間)を危険な状態にしないという思いやりの気持ちです。安全走行で楽しいレースにしましょう。

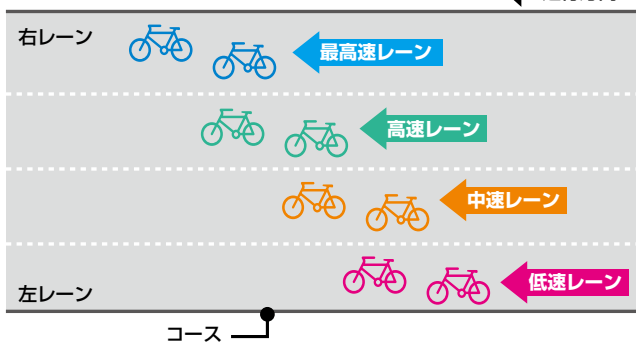
## 安全にレースを走る為の心得

スズカ8時間エンデューロでは、速度差のある選手が同じコースを混走します。その状況で走行中の安全を確保するためには、参加選手である皆様の協力が必要です。

### ① 走行レーンの維持

鈴鹿サーキットコースを反時計回りで競技を行います。ゆっくり走る方はコース左側のレーンを、前走者を追い越す場合は右側のレーンから追い越します。追い越した後しばらく右側のレーン走行を維持します。サーキットには普通道路のように車線を区切るラインはありませんが、4本のラインで仕切られた走行レーンを走るイメージで走ってください。(下図参照)

### コース走行レーンのイメージ図



### ② 視野を広く確保する

前の選手だけを見るのではなく、目線を上げて100m先を見るつもりで前方の動きを把握して走行しましょう。

### ③ 急な進路変更は厳禁

レース中は集団で走行しているので、自分の前後左右には他の選手が走行しています。進路変更やピットへ入る時は手で合図をするなど、注意を促して、安全を確認してから進路変更しましょう。

### ④ 声出しをしよう

追い越しを行う時は「右、通ります」、ピットへ入る時は「ピットへ入ります」と一声掛けると、周りにはいる選手もその動きに対して構える事ができるので、選手同士の接触を防止する事につながります。

### ⑤ よそ見をしない

視線は常に前を向けて走ろう。コース脇からの声援に視線を向けたり、苦しくなって下を向いて走らないように注意しましょう。前方を見ていないうちに、自転車は意外に前へ進んでいます。

※スタート時は沢山の選手に囲まれてスタートしますので、特にこの5つを厳守しましょう。

※ピットエリアでは安全な速度で走行・横断注意。

## サイクリストとしてのマナー

自分が怪我をしないように、また他の選手を事故に巻き込まないためにも以下の2つを守って下さい。

### ! スタート前のチェック

- 自転車の安全点検
- ヘルメットのチェック：損傷がないかチェックして、アゴ紐を締めて正しく被ります。浅く被ったり、深く被りすぎても万が一の時にヘルメットの性能が発揮されません。(注意)ヘルメットは経年劣化します。購入後3年間で保護性能有効期間です。
- 服装のチェック：靴紐やズボンの裾などがギアなどに絡み付くと危険です。できるだけ体にフィットする服装で走行しましょう。
- 計測チップ：計測チップは正しく装着しましょう。間違った向きや場所に装着すると正確な記録が計測できない恐れがあります。

### ! 走行中にトラブルが発生したら

#### ① パンク

- 手を上げたり、「パンク」と声をだして周囲の選手にパンクした事を伝えます。
- 急停車するのではなくゆっくりと減速し、後方から来る選手に注意を払いながらコース左端へ退避し、コースから出て停車します。(急停車・急な進路変更は後ろからの追突事故につながります)
- コース脇を自力でピットまで戻ってください。無理な場合は近くの大会スタッフに現状を伝えてください。

#### ② 転倒した場合

- 転倒時は、体を出来るだけ小さくして最後までハンドルから手を離さないようにしましょう(手を離して手から着地すると鎖骨が折れることがあります)。動ける場合は周囲の安全を確認してコース脇へ移動します。無理な場合は体を丸めて小さくなり、スタッフの到着を待ちます。直ぐにスタッフが駆けつけます。



# コース紹介

左側(アウトコース)をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



緩やかに下りながら急カーブしている文字通りヘアピンカーブです。左側(アウトコース)をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



アルファベットの「Z」形のように鋭角に曲がりかねたコーナーになっています。アウト・イン・アウトのラインで走ろうとすると、並走している選手と接触します。必ず自分が走っているレーンを維持して走りましょう。



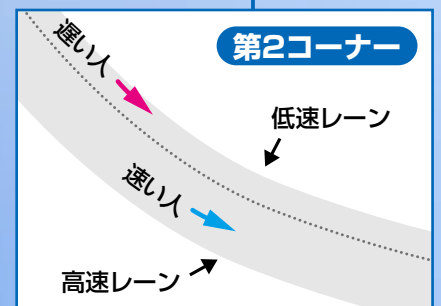
緩やかに下っている直線なので単独で走っていると危険を感じない場所ですが、ストレートの後半は上り坂になっています。集団で走っていると、自然渋滞の様に前方の選手が一気に減速しますので、追突に注意しましょう。また、ギア変速によってチェーンが外れて失速する選手や、止まっている選手もいます。目線を遠くして、前方の動きに注意しましょう。



25Rは直角に近い急カーブです。ヘアピンからデグナーへずっと下りが続いているのでスピードコントロールしてください。右側から追い越す選手は、左側を走行している選手の走行レーンを塞がない様に注意しましょう。



NIPPOコーナーからS字カーブ、第2コーナーへと連続して下りのカーブが続きます。自分の技量を自覚してコントロールできるスピードを維持しましょう。左側(アウトコース)をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

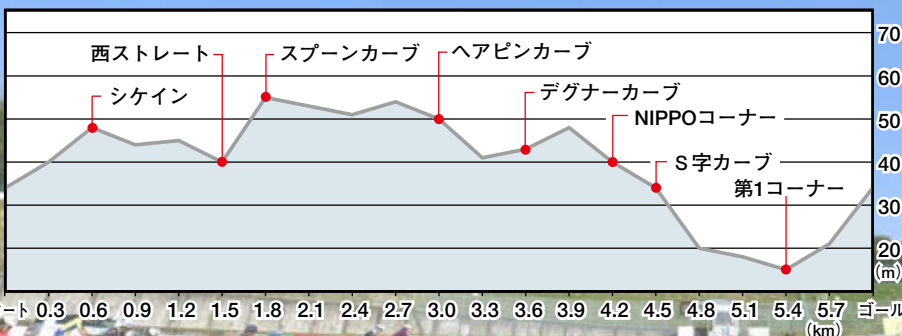


## 第2コーナーコース規制区間

第2コーナーはコース規制区間です。インコースはゆっくり走る低速レーン、アウトコースが速い人用の高速レーンに区分しています。



## 鈴鹿サーキットコース高低差図 (フルコース=1周 5.807km)



# 競技方法

## エンデューロ 競技方法

- 1) 競技は定められたコースの周回を重ねそれぞれ所定時間を経過した後競技を終了し、走行した周回数およびゴール着順により順位を決定します。チーム参加の場合はアンクルバンド(チーム用計測タグ)を次走者に繋ぐリレー形式で走行します。
- 2) スタート時は先着順に整列し、オートバイの先導によるローリングスタートで競技を開始します。
- 3) カテゴリーは種目によりソロおよびチーム対抗とし、8時間・4時間の耐久レースを実施します。それぞれ総合順位賞を設けています。(詳細は表彰についてを参照)
- 4) チーム構成は8時間エンデューロ:2~6名、4時間エンデューロ ロード:1~5名、WOMEN:1名、フラットバー・リカンベント:1~5名、男女混合:2~5名、ママチャリ:1~5名、ファミリー :3~4名とします。使用する自転車は同一チーム内であれば共有する事が出来ます。
- 5) 競技中の選手交代は、あらかじめ定められた各チームピット前のピットレーンにてチーム用計測タグの交換により行います。選手交代のタイミングは同一チーム内で自由に行え、チーム用計測タグを装着した選手のみ走行できます。



- 6) ピットレーンの出入口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。エンデューロに出場されている選手はその間、交代できませんのでご注意ください。

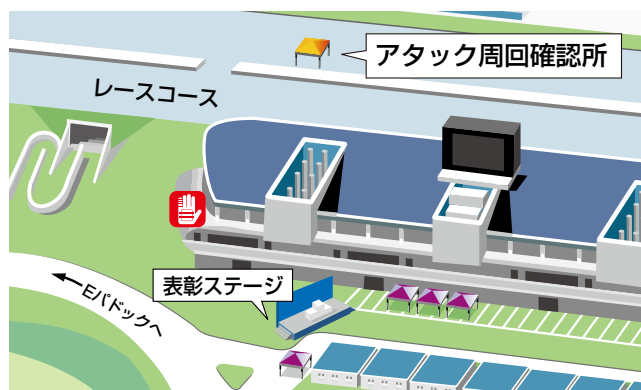
### ピットロード閉鎖時間・シケイン含む

入口：各競技終了5分前～ 出口：各ゴール時刻より20分間

- 7) 規定時間を過ぎてゴールラインを通過し、レースを終了した選手はシケイン手前からピットロードから退出して、速やかに計測タグを返却した後、各チームピットへ戻ってください。

## アタック 競技方法

- 1) 競技はソロでチャレンジする「アタック240」を実施。スタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図で一斉にスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。8時間以内にサーキットを40周回(232.28km) 走破し、ゴールタイムを競います。
- 2) 順位は規定時間内の周回数で決定します。(なお、同一周回数の場合はゴール順位の優劣により決定します)
- 3) 各選手のレース途中経過情報は、1時間ごとにモバイルラッパー一覧サイト「LAP CLIP」でリアルタイムに確認できます。
- 4) 制限時間終了後は新たな周回には入れませんが、周回途中で制限時間となった場合の周回は有効となり、この周回を含めて40周回走破すると完走となります。
- 5) 周回版の掲示はいたしません。周回数の管理は選手個人の責任とします。サイクルメーターなどをご利用いただくか、ホームストレートのゴールライン後方に設けられた「アタック周回確認所」をご利用ください。



- 6) 制限時間内にゴールした選手はコース上に立ち止まらず、シケイン手前から左へ折れてピットロードを通過して速やかにコースアウトしてください。完走した選手全員に、完走証を発行いたします。(ゴール後～17:00まで) 選手受付にゼッケンをお持ちください。
- 7) ピットレーンの出入口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。コースとピットレーンとの出入りが出来なくなりますのでご注意ください。

### ピットロード閉鎖時間・シケイン含む

入口：各競技終了5分前～ 出口：各ゴール時刻より20分間

※長時間のソロ競技ですので補給食や休憩を取ることも考えて、自身の体調管理には十分注意してください。



# 競技規則・競技者の装備・公式記録

## 競技規則

- 1) 本大会は（公財）日本自転車競技連盟の規則に準じ、本大会の特別規則によって実施します。
- 2) 競技規則および競技運営・管理上の規定を厳守してください。
- 3) 競技は、計測タグ使用による自動計測システムにて実施します。もし計測タグを装着せずに競技に参加した場合、成績が表示されませんのでご注意ください。
- 4) 車検は行いませんので、各自責任を持って常に完全に整備された自転車を用いて参加してください。
- 5) スタート地点への移動途中やローリングスタート走行中の無理な追い越しや割り込み等、危険行為、迷惑行為を禁止します。
- 6) インデューロのスタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図でスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。
- 7) 全ての競技においてスタート時間に遅れた競技者およびチームは、遅れた時間分をロスタイムとして計測します。
- 8) コースで他の参加者を追い抜く場合、原則的に右側から追い抜くものとします。
- 9) ピットレーン走行中は原則として他の競技者を追い抜く事を禁止します。
- 10) コース走行中、自分の走行ラインを斜めに変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い安全であるか確認することを義務付けます。
- 11) 競技中および試走時間中にコースを逆走することは安全管理上一切禁止します。
- 12) 競技者は、ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。なお、携帯したものをコース上およびその周辺に破棄する事を禁止します。
- 13) 競技中、完走打ち切りは原則として実施しませんが、審判委員および医務員から競技の中止を指示された競技者は、直ちに競技を中止してください。
- 14) 競技は参加申込にてエントリーした選手のみが出場できます。なお事前に大会本部（選手受付窓口）に、参加者変更の連絡を申し出ている場合は、代理人の出走を認めます。
- 15) 競技参加者は競技役員の指示に従ってください。
- 16) 大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。
- 17) 飲酒による出走を禁止します。
- 18) 危険行為、迷惑行為、規則違反、マナーや風紀を乱すなど、競技者として不適当な行いがあった者（チームやグループ）には警告と周回数減などのペナルティーを与えます。悪質な行為や警告が度重なる場合はレースから除外します。
- 19) 携行した飲食料の飲食はコース走行中も可能ですが、飲食料を補給する場合はピットエリア内で必ず停車して行ってください。第三者からの補給を受ける場合もピットエリア内で停止して行ってください。
- 20) 同一チームで複数名が同時に走行することを禁止します。アンクルバンド（チーム用計測タグ）を装着していない選手は走行出来ません。

※試走・パフォーマンスパレードは省く

## 競技者の装備

- 1) 全ての競技者は落車時に頭部を保護する為に、ヘルメットのアゴひもをしっかりと締めた着用を義務付けます。使用ヘルメットが、使用上安全であると認められるものはJCF（日車連）公認の物でなくても使用を認めます。（但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る。）
- 2) 全ての競技者は、主催者から用意されたゼッケン及び計測タグを指定の位置に取り付けることを義務付けます。

※衣装および車輛の装飾については、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物を取り付けることは認めません。  
仮装衣装は、ノースリーブや極端な露出の衣装を着用することを禁止します。  
着用する衣装の丈の長さは、車輪巻き込み防止のため膝頭より上とし、走行時に本人を含む、周りの方へ危険を与えない事。

## 公式記録

- 1) 競技記録は以下の手順にて公式記録となります。
- 2) レース終了後、直ちに通告員より入賞対象選手またはチームを場内（ピットエリア）アナウンスします。同時にウェブサイトに全てのレース結果を掲示します。
- 3) 通告、掲示後10分経って意義申し立ての無い場合、競技結果は公式記録として確定します。



# 車両規定について

## 車両規定

- 1) フリーホイール式であり、正常に作動するブレーキが前輪と後輪それぞれに装着されていること。
- 2) サーキットでの高速走行に耐える強度を備え、よく整備された自転車であること。
- 3) ディスクブレーキの使用を認めます。
- 4) 電動アシスト付自転車、タンデム車、ピスト（固定ギア）は出場できません。

## ホイールについて

- 1) ディスクホイールはパフォーマンス目的での利用に限り使用可能とします。集団走行での使用は認められません。
- 2) バトンホイール・スピナジーの使用は認められません。

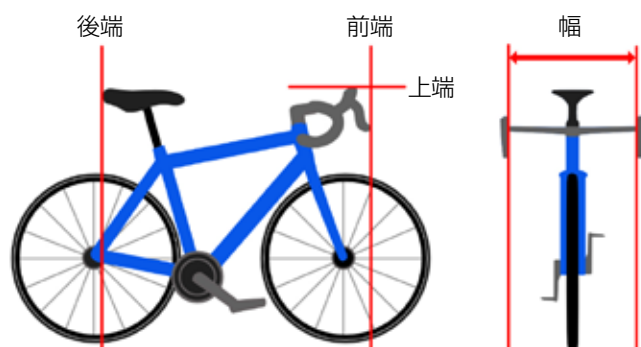
## カメラについて

- 1) スポーツ用の市販小型カメラで、取付具は自転車を使用するために設計された市販品に限ります。
- 2) 取付はハンドル/サドルのみとしハンドルの上端、前端、幅を超えないこと。
- 3) 後部はサドルの後端を超えないこと。
- 4) 落車の際に選手本人や他の選手に危害を及ぼす可能性がある位置や装着方法は認めません。
- 5) 撮影した映像・画像は営利目的やほかの参加者の迷惑や大会運営の妨げになるような使用は禁止です。

### ●カメラの取付例



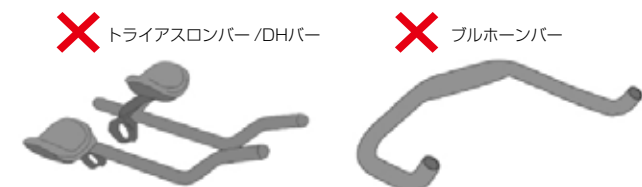
### ●カメラの取付位置



## ハンドルについて

- 1) トライアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。
- 2) フラットハンドルバーのエンドバーは認めますが、エンドバーを本来の目的以外に使用する事を禁止します。

### ●使用不可ハンドル一例



### ●バーエンドバー取付例



## その他付属品など

- 1) センタースタンド以外の、1本足スタンドは必ず外して走行してください。



- 2) ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。
- 3) 競技に不要で危険を及ぼす可能性のある部品は取外すこと。

ライト・リフレクター・ミラー・カゴ・泥除け・ベル・鍵・荷台・スタンド・ハンドルに取り付けるボトルホルダーなど  
※ママチャリを除く



# 車両規定について

## 4) 装着可能な物

サイクルボトル・ボトルゲージ・サイクルコンピューター・サドルバッグ・携帯用空気入れ・サドル後方のボトルゲージ・ツールボトル

※ミラーは10cm以下で飛散しない材質のこと（ガラス禁止）。但し、集団走行をする（可能性がある）場合は、装着不可です。



5) 通信機器（トランシーバー等）を使用する場合は、片耳イヤホンとし走行中の操作を禁止します。なお、会話に集中しすぎ、走行に際して注意散漫にならない様にする

## 走行中の禁止事項

1) レース・試走にかかわらず走行中の写真撮影や携帯電話の使用、携帯プレーヤー等で音楽を聴きながらの走行は禁止です。



2) 走行中のビデオ、カメラ、携帯電話などを操作、携帯プレーヤー等で音楽を聴きながらの走行は禁止です。コース脇に止まったのの写真撮影や携帯電話の使用も禁止です。

※車両規定や禁止事項の違反、装備の使用方法が本来の目的以外の使い方で車両規定違反と判断した場合は、審判長の判断により走行禁止や規制を加えられる場合があります。

※自転車や装備について詳細は大会事務局までお問い合わせください。

## 自転車

### ●ロード

通常ロードレーサーと呼ばれる車種全般とドロップハンドルを装着した車種とします。このカテゴリーへのクロスバイク、MTBでの参加もOKです。その場合タイヤサイズの規制及びフラットバー使用の規制はありません。



### ●フラットバー

クロスバイク、MTBなどフラットハンドル付の自転車。車輪径とタイヤの太さの制限はありません。エンドバーの使用は認めますが、緊急時のブレーキ操作が可能なブレーキレバーを装着した自転車のみとします。スリックタイヤの使用は可能です。



### ●ミニ（小径車）

前後の車輪径が22インチ以下のドロップハンドル以外のスポーツ車であれば基本的に車種や変速機の制限は設けません。ただし、高速走行に耐えうる十分な強度を備えた自転車であること。



※ミニのドロップハンドルはロードクラスとなります。

### ●リカンベント

リクライニングポジションで乗車する、リカンベントタイプの自転車です。カウリング付きも認めますが、単独で乗り降り可能な形状のみとします。



※目印となるフラッグを装着すること。

### ●ママチャリ

前カゴ、泥除け付きの通学用及び買い物用などに使用される一般市販の自転車（無改造車）。変速機付の場合は内装仕様のみ認めます。（外装変速機は禁止）



※ペダル(足の固定)、スリックタイヤ、ハンドル、サドルなどの交換や軽量化など速くする為に手を加えることは禁止。

※装飾は可能であるが、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物は禁止。



# 表彰について

表彰ステージ上で1.2.3位の選手・チームの表彰式を行います。表彰式対象者・関係者の方は表彰会場までお越しいただき、表彰受付を済ませてください。レース結果はスマートフォンやタブレットなどから〈LAP CLIP ウェブサイト <https://matrix-sports.jp/lap/>〉でご確認ください。



LAP CLIP

※リザルト掲示板・インフォメーションボードは設置いたしません。  
 ※参加者（チーム）が10組に満たない場合は入賞対象を3位までとします。  
 ※アタック240クラス（年代別など）の表彰対象は完走者のみとなります。

※上位入賞者への表彰状や各副賞は当日会場でお渡しします。後日事務局から発送することはありませんので必ず当日お受け取りください。

## 8時間・4時間エンデューロ

### ●総合順位賞

8時間、4時間エンデューロにはそれぞれ総合順位賞を設けます。それぞれの総合順位の1位には、その栄誉をたたえチャンピオンジャージを贈呈いたします。

8時間、4時間エンデューロそれぞれ総合順位賞1位～3位のチームに賞金を贈呈します。



### ●年代別表彰

ロードソロは別途年代別1位のみ賞状と副賞を授与いたします。（29歳以下、30代、40代、50代、60歳以上）

※ソロ、総合入賞以外が対象です。女性カテゴリーは対象外です。

### ●表彰式

各カテゴリーの1位、2位、3位の選手は表彰ステージにおいて表彰式を行います。表彰対象選手は表彰ステージ前にお集まりください。

### ●カテゴリー別順位賞

ロードソロは上位3位まで、チームエンデューロの各カテゴリー上位6位までに賞状と副賞を授与いたします。

種目/カテゴリー		表彰式	表彰状・副賞	賞金/盾	チャンピオンジャージ
8時間 エンデューロ	総合	1～3位	-	○	○
	ロード/チーム	1～3位	1～6位	-	-
	ロード 45+	1～3位	1～6位	-	-
	男女混合	1～3位	1～6位	-	-
4時間 エンデューロ	総合	1～3位	-	○	○
	ロード/ソロ	1～3位	1～3位（総合と重複あり）	-	-
	29歳以下	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	30代	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	40代	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	50代	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	60歳以上	1位	1位（ロード/ソロ1～3以外）	-	-
	ロード/チーム	1～3位	1～6位	-	-
	WOMEN/ソロ	1～3位	1～6位	-	-
	男女混合	1～3位	1～6位	-	-
	フラット・ミニ・リカンベント	1～3位	1～6位	-	-
	ママチャリ	1～3位	1～6位	-	-
ファミリー	1～3位	1～6位	-	-	

## アタック240

### ●総合順位賞

総合順位の1位の選手には、その栄誉をたたえチャンピオンジャージを贈呈いたします。

アタック240の総合1.2.3位の選手に賞金を贈呈します。

種目/カテゴリー	表彰式	表彰状・副賞	賞金/盾	チャンピオンジャージ
アタック240 総合	1～3位	-	○	○

### ●年代別表彰/カテゴリー賞

アタック240総合の上位3位までを除外して、4位以下の記録で年代別1位（下記表彰対象）の表彰を行います。

女性カテゴリーは3位までの表彰とチャンピオンジャージを贈呈いたします。

対象種目/カテゴリー	表彰式	表彰状/副賞	賞金/盾	チャンピオンジャージ
アタック240	29歳以下	1位	1位（総合1～3以外）	-
	30代	1位	1位（総合1～3以外）	-
	40代	1位	1位（総合1～3以外）	-
	50代	1位	1位（総合1～3以外）	-
	60歳以上	1位	1位（総合1～3以外）	-
WOMEN	1～3位	1～3位	-	○

### ●完走記念品/完走証

アタック240の完走者には大会当日、受付にて「完走記念品〈アタックタオル〉」をお渡しします。

完走証は〈LAP CLIP ウェブサイト <https://matrix-sports.jp/lap/>〉にてダウンロード可能です。

## パフォーマンス賞

会場を楽しませてくれたチームに、パフォーマンス賞として副賞を贈呈します。



## メカニックサポート

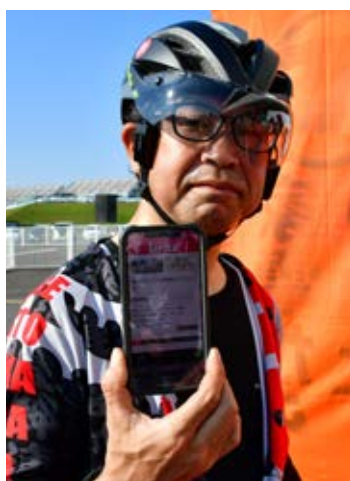
### 移動中や会場で突然起こった 緊急トラブルに対処する頼もしい味方

レースを楽しむには、大会の車両規定を満たすしっかり整備されたバイクで走ることが重要です。レースに来る前にショップや各自で自転車の点検・整備を行うことで会場でのトラブルはかなり防ぐことができますが、不運にも会場への移動中や現地で思わぬトラブルに見舞われてしまうことも。そんな突然のトラブルに対応してくれる頼もしい味方がメカニックサポートです。プロのメカニックが最低限の応急処置を行ってくれます。レースに出るのをあきらめたり、トラブルを放置して出走して重大な事故につながる前に、まずはメカニックサポートに相談してみてください。

※部品交換を必要とするような大がかりな修理には対応できない場合があります。また、簡単な部品交換で対応できる場合は部品代のみ有償となります。交換部品や対応する工具がない場合もあります。あらかじめご了承ください。

※メカニックサービスはレースに出走するための緊急対応のみとなりますので、整備不良車やレース出走後のトラブル対応や調整・整備はお断りさせていただいております。

※メカニックサポートでの応急処置は一時的なものです。レース終了後に必ず専門店で修理や整備を受けてください。



## レース経過速報

<https://matrix-sports.jp/lap/> (PC・スマホ対応)

サービスのご利用は上記URLまたはQRコードでアクセス！



### 無料で好きなときにラップタイムや順位をチェック！ ラップ一覧チェックサイト「LAP CLIP」

スマートフォンやタブレットなどのお手持ちのモバイル端末で、カテゴリー別にチームや選手の順位やラップタイムの速報がいつでも無料で確認できるサービス「LAP CLIP」。無料のサービスながら提供されるデータも充実していて、各周回のラップタイムが1000分の1秒まで詳細に表示される

一覧表形式、周回ごとの推移がビジュアル化されてわかりやすいグラフ形式の表示が選べます。ラップタイムや周回数などのデータは、選手たちがコントロールライン通過後にほぼリアルタイムで更新されるので、常に最新の情報を確認できます。チームのメンバー交代のタイミングを図ったり、ライバルチームの動向を確認したりするなど、レースの戦略を練るのに役立ちます。

※速報データのため、順位・タイムは後から修正される可能性があります。



## 24回大会の様子をレポート

大会の魅力をたっぷり伝えるwebレポートを大会終了後にアップします(11月下旬予定)。レースレポートや大会の裏話、チーム紹介、優勝者のプロフィール、イベントでのエピソードといった読み物を満載した楽しいレポートです。感動のゴールシーン、サポーターの皆さんの表情を撮った写真もたっぷり掲載します。大会の思い出をwebで追体験してください。



<https://suzuka8h.powertag.jp/>

上記URLまたはQRコードでアクセス！



# パワータグとゼッケンの取り扱い

自動計測「パワータグ」は個人用のフロントホーク固定式計測タグとチームリレー用のアンクルバンド式計測タグがあります。個人用はソロの参加選手、チーム用は1チームに1個お渡しします。



●個人競技用 計測タグ  
(フロントホーク取付)



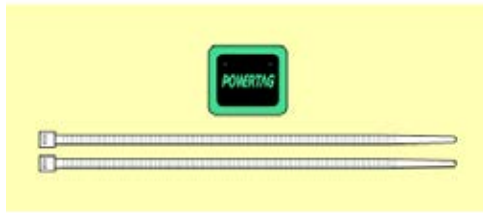
●チーム用 計測タグ  
(アンクルバンドタイプ)

## フロントホーク固定式計測タグ (ソロ用)

ソロの参加選手全員に個人用計測タグセット (固定式計測タグ、タイラップ2本) をお渡ししています。使用する自転車に装着してください。

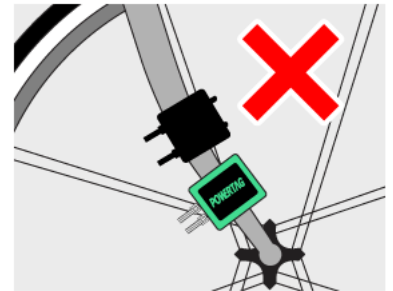
固定式計測タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、フロントホーク (イラスト参考) の位置に固定してください。

※ソロの参加選手には個人用固定式計測タグのみお渡ししています。(アンクルバンド式計測タグはありません)



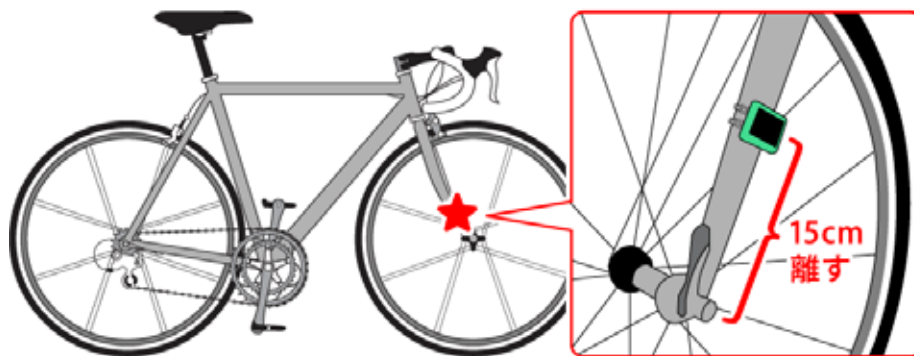
### ●ソロ用 計測タグセット

- ・計測タグ1個
- ・結束用具 (タイラップ) 2本



### ❗ ご注意

計測タグはサイクルコンピュータのセンサーを装着しているホークの反対側に取り付けてください。センサーと計測タグを近くに取り付けると、どちらも作動しなくなる場合があります。



## アンクルバンド式 計測タグ (チーム用)

エンデューロの記録計測に使用する計測チップはアンクルバンドタイプです。

ライダーの足首に巻きつけて使用しますので下記の注意事項をよく読んで取り扱ってください。

### ❗ 取り扱いの注意事項

- 1) アンクルバンドタイプの計測チップは足首に巻きつけて走行します。審判員から視認できるように露出して装着してください。(左右どちらでも可)

※手首に巻いたりポケットなどには入れないでください。計測されない場合があります。

- 2) 計測チップの受け渡しは必ず停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは厳禁です。
- 3) 計測チップは精密機器です。ライダー交代の際に投げたりしないでください。落下して記録が計測できなくなることがあります。



アンクルバンドは黒い面を外側(黄色面を内側)に足首に巻きつけてください。走行中に外れないようしっかり固定してください。

# パワータグとゼッケンの取り扱い

## 計測タグの装着

①



タグ裏面にあるゲタ状台座の穴に、写真のようにタイラップを通します。

②



フロントホークに装着し、タイラップの細い先端を穴に通して強く引きます。

③



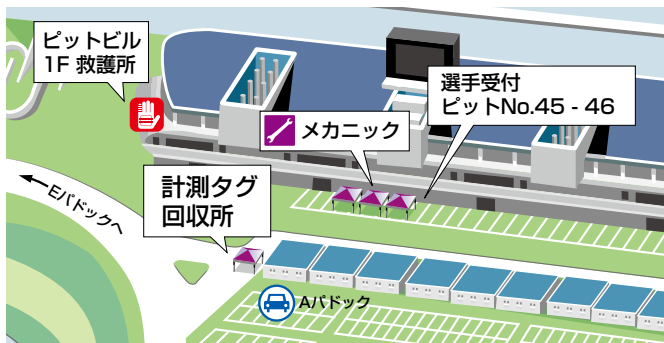
しっかり固定するまでタイラップを引き、ずれたりしないか確認します。

④



固定したら余分なタイラップをニッパーなどで切り取ってください。

## 計測タグの返却



レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全て返却していただけます。

個人用計測タグは固定したタイラップを切って返却してください。アンクルバンド式計測タグはそのまま返却してください。

※自動計測器「パワータグ」は個人登録されていますので、返却されなかった場合は大会事務局より製作実費5,000円（個人用計測タグ）あるいは7,000円（アンクルバンド式計測タグ）を請求させていただきます。

## ゼッケンの取り付け位置

### ●取り付け方法

ゼッケンは、同封の安全ピンで ジャージ上着の背中左側 の腰位置に取り付けていただけます。このとき、下図のように「脇腹のラインにゼッケンの下部が沿うような位置」に取り付けてください。（ゼッケンのナンバーが、左側面と背面から見えるような位置）

### ●ゼッケンは折り曲げてはいけません

テープ・両面テープのみの取り付けは禁止します。必ず安全ピンでしっかりと取り付けてください。

剥がれた場合は競技を続けることができません。



## イベントのご案内

### ロトラップでドン!

参加  
無料

時間・場所 16:30の表彰式にて  
(すべての競技終了後に当選者を発表いたします)



### ラップタイムと当選番号が一致すれば、 最大10万円の賞金があなただけのもの!

レース前に発表される当選番号と、レースで1周ごとに記録されるラップタイムの下5桁が一致すると、賞金10万円の賞金を当選者で山分けできる「ロトラップでドン!」。レースに出場する全選手・チームが対象で、レースで1周以上走ったら自動的にエントリーされます。賞金は最大10万円で、当選者が1チームなら10万円を独り占めです!

周回を重ねるごとに当選のチャンスが増えていくので、シャカリキになって走って周回数を稼ぐ“数撃ちゃ当たる”方式で当選確率を増やしてもよし、ラップタイムを調整しながら確実性を高めて当選を狙ってもよし、戦略は自由です。

例年当選者が少なく、当選チームが1チームしか出ないことや当選者ゼロの年もあるこの企画。当選者ゼロの場合は翌年に賞金がキャリアオーバーされるというルールもあります。

今年高額賞金をゲットするのは、あなたかもしれない!?

#### ロトラップでドン! 実施概要

- 大会前に発表される当選番号と、ラップタイム末尾5桁の数値が一致すると最大で賞金10万円が当たります。  
※すべての競技終了後に当選者を発表いたします。
- 賞金：10万円 対象：全種目 当選番号：24888 当選ラップタイム：[〇〇分24秒888]
- 当選者が複数の場合は1,000円単位で分配します。
- ソロは個人に、チーム参加の場合はチームに賞金が贈られます。  
※当選された方は必ず参加確認証をご持参ください。参加確認証をご確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。
- 4時間エンデューロ表彰時に当選者の1次発表を行います。全ての競技終了後、最終当選者及び賞金額を発表します。
- 全競技終了後の最終発表時に当選者が不在の場合は、当選権利が失効しますのでご注意ください。

## 抽選会

### 8時間終了後に開催! 4時間終了後は じゃんけん大会も開催予定!

参加  
無料

ロードバイクや小径車の完成車、フレーム、ホイールなど、サイクリスト垂涎のアイテムから宿泊券やお米など家族に喜ばれる品まで豪華賞品が続々登場するスズカ8時間エンデューロの抽選会。例年4時間エンデューロと8時間エンデューロの終了後にそれぞれ1回ずつ行ってきましたが、今年は8時間エンデューロ終了後に一本化! 4時間エンデューロの参加者も早々に帰るのではなく、最後までぜひ残ってください! 「4時間終了後は何もないの?」と思われた方もご心配なく! 4時間終了後にはじゃんけん大会も開催予定です! 当選を引き寄せるのに必要なのは運の強さですが、参加しなければ始まりません! レース終了後、会場のメインステージ前にお越しください! あとは抽選券の半券を抽選箱にいれ、運を天に任せて自分の番号が呼ばれるのを待ちましょう!

※当選された方は必ず参加確認証をご持参ください。参加確認証をご確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

※賞品贈呈は 当選発表時にのみおこないます。その場で当選者のお申し出がない場合は無効となりますのでご注意ください。

#### じゃんけん大会 時間・場所

4時間エンデューロ 表彰式の終了後引き続き行います (抽選会会場 表彰ステージ広場)

#### 抽選会 時間・場所

投票締切 16:00 ~ 8時間エンデューロ / アタック240 表彰式終了まで (抽選箱は受付に設置)

抽選会開始 8時間エンデューロ / アタック240 表彰式の終了後引き続き行います (抽選会会場 表彰ステージ広場)



# イベントのご案内



## バザール

時間・場所

8:00 ~ 16:00 予定

(ピットビルとチームオフィスの間にて)



### 最新のバイクや話題の製品がずらり！ 試乗・試着、買い物を楽しもう！

話題の自転車ブランドやショップなど、協賛各社のブースが会場の一角にずらりと並び、サイクリングバザール。バイクやアイテムの展示、試乗・試着、買い物も楽しめるスズカ8時間エンデューロを象徴する人気イベントのひとつです。

バイクやホイール、ヘルメットやアイウェアなどの中には、市場に出回ったばかりの最新モデルもあります。一部の製品については、試乗や試着もできるので、気になるあのアイテムを試すチャンス！ 例年ドリンクやサプリメントなどの試供品を配るブースもあります。

物販を行うブースもあり、タイヤやチューブなどの消耗品、サイクルウェア、ドリンクやエネルギーフード、サプリメントなど会場特別価格で販売するブースも。ショッピングだって楽しめます！ 気になるアレコレをいっぱい買い物してしまいましょう！ 会場に来てから何か忘れ物に気付いた場合も、ブースで手に入れられるかも？ 気になる出展ブランド・ブースの情報は順次サイトにアップされるので、こまめにチェックしてください！

## スポーツグラスフィッティング

無料

時間・場所

8:00 ~ 16:00 予定 (メカニックサービス横にて開設)

### アイウェアをよりフィットさせ、 本来の機能を発揮させる

南船場スポーツグラスサロン 眼'z  
(<https://eglasses.wixsite.com/mysite>)



大阪市でアイウェア専門店「眼'z」を営むスポーツサングラストレーナー & アドバイザーの井上好広さんが、来場者のアイウェアを顔の形に合わせて正しくかけられるように調整するスポーツグラスフィッティング。アイウェアは走行中の風や砂ぼこりから目を守りますが、顔の形にフィットさせて正しい位置に装着しないと本来の機能を発揮できません。そこでこのサービスでは、井上さんが1人あたり10分ほどかけてテンプルの曲げ具合やノーズパッドの当たり具合などを細かく調整。正しい位置に装着し、フィット感もアップするようにフィッティングを行います。

井上さんによると、「最近は欧米ブランドのアイウェアを選ぶ人が多いが、これらのブランドの製品は主に欧米人向けなので、日本人が着ける場合はフィッティングが必要」とのこと。井上さんのフィッティングを受けた方の中には、翌年に別のアイウェアを持参し、調整をお願いするリピーターもいるとのこと。その技術の高さを確かめてください。



# イベントのご案内

## ロードレース講習会

参加  
無料

時間・場所

6:20～（開始5分前までに表彰会場に集合）

※講習後に試走される場合は試走時間がタイトになる為、  
走れる準備をしてお越しください。

！例年と集合場所  
が違いますので  
ご注意ください

### 「安全に走るためにすべきこと」を マトリックス・パワータグの選手が伝授

講師：チームマトリックス

スズカ8時間エンデューロには、レースが初めてという方も多く参加します。誰でも初心者の方は集団走行に不慣れで、まわりに大勢の参加者がいる中で走ることに不安を感じるもの。そこで本大会では、安全な集団走行のために守るべきルールやちょっとしたコツなどを学んでもらう機会として、主に初心者を対象にしたロードレース講習会を毎年開催しています。

講習会はホワイトボードや自転車を使った講義を行います。講義では走行前のバイクの安全点検の仕方、レースやサーキットでの安全な走り方、集団走行のポイントなどを10分ほどにギュッと濃縮して説明します。講師を務めるのは、国内最高峰の自転車ロードレースの年間シリーズ戦・Jプロツアーで活躍する本大会のホストチーム、マトリックス・パワータグの選手たちです。

講義終了後、学んだばかりの知識を実走を通じて体感してください。

レース初心者はもちろん、ある程度レース経験のある方が集団走行のスキルについて改めて学び、レースでうまく立ち回るのにも役立つ内容です。皆さんの参加をお待ちしています！



## MC紹介 こんなにも楽しい「自転車運動会」は、ココだけ！ 待ちに待ったスズカを最高に楽しく盛り上げるMC2人！

### PROFILE

#### スポーツMCコウゼンさん (Team REAL)

大阪芸術大学舞台芸術学科卒業後、大手劇団を経てスポーツMCとしてもマイクを持ち始める。高校時代に始めたMTBのダウンヒル競技国内シリーズへの参戦や、メッセンジャーの世界大会に日本代表選手として出場した経験もある。スポーツMCとして更なる飛躍を目指しチームリアルに加入し、その才能を開花。俳優から転身した博学多才なスポーツMC。



### PROFILE

#### 絹代さん

サイクルライフナビゲーター。MCや記事の執筆のほか、自転車の魅力や効能のメディアでの情報発信や自転車を軸とした、健康増進や美容、エコのフィールドで活動中。各地の自転車政策の検討委員も務め、地域おこしや、自転車の普及啓発活動にも携わる。



# ホストチーム紹介



Photo : Satoru Kato

株式会社マトリックスがメインスポンサーで、大阪府高石市を拠点とし監督を筆頭に相も変わらずイケメンが揃ったチームは、2019、2020、2021、2022年とJプロツアー個人／チーム総合優勝の連覇記録を4連覇に更新。チーム18年目は更に上昇前進を掲げこれまで築いてきた礎や軌跡と向き合うために舵を切る。忘れてはならぬ大切なものがある、激動の時代「昭和」の中で先人たちが築いてきた熱い勝負魂。我らアダルトなチームの最も得意とする「昭和」の走りに改めて向き合い灯をつけよう。チームを支えレースを支える、そんな熱い思いで突き進む！

## マトリックスパワータグプロフェッショナルサイクリングチーム <<https://team-matrix.jp/>>

### 今シーズンを振り返って

「昭和残走伝 -THEマトリックスパワータグ-」昭和の走りを見せてやる！国内ツアーレース連覇を果たし更なる上昇を目指して海外レースへの参戦を掲げた2023シーズン。ギリシャチャンピオンのバグラス加入でゴール勝負の戦力強化し意気揚々と海外レースへ舵を切るが、世界的パンデミックの爪痕はまだ大きく、度重なる大会キャンセルにより活動しきれずコンディションを安定することが難しかった。そんな中での上級1クラスレース「ツアー・オブ・ジャパン」や「ツアー・オブ・イラン」ではステージ勝利や上位に絡み、総合ポディウムにあと一步のところまで戦えたことで可能性を実感し、挑戦への熱い炎を燃やし続けている。レースを作るスタイルは貫き通し止めることなく走り続けます！



Photo : Itaru Mitsui



Photo : Satoru Kato



Photo : Yosuke Suga

### 2023年 戦歴

3月	Jプロツアー袋井・掛川ロードレースDay2	2位	小林 海
4月	Jプロツアー東日本ロードクラシックDay1	2位	フランシスコ・マンセボ
5月	堺国際クリテリウム	優勝	ゲオルギオス・バグラス
5月	ツアー・オブ・ジャパン	第2ステージ(京都)	優勝 ゲオルギオス・バグラス
6月	ツール・ド・熊野	第2ステージ	3位 ゲオルギオス・バグラス
		ポイント賞総合	3位 ゲオルギオス・バグラス
		チーム総合	3位 マトリックスパワータグ
6月	Jプロツアー群馬CSCロードレース 6月 Day-1	3位	小林 海
6月	西日本トラック	オムニアム	優勝 植益和行
7月	ギリシャ選手権ロード	優勝	ゲオルギオス・バグラス
8月	GP KANDOVAN	4位	小林 海
8月	Tour of IRAN	第1ステージ	2位 ゲオルギオス・バグラス
		第3ステージ	2位 ゲオルギオス・バグラス
		山岳総合	2位 フランシスコ・マンセボ
9月	Jプロツアー経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ/南魚沼ロード ★1-2勝利	優勝	フランシスコ・マンセボ
		2位	ホセ・ビセンテ・トリビオ
		団体優勝	マトリックスパワータグ
10月	おおいたアーバンクラシック	4位	フランシスコ・マンセボ

# ホストチーム紹介

ヤスハラ マサヒロ  
安原 昌弘 (監督)

60才/170cm/66.0kg (JPCA)

アトランタオリンピック代表。世界選手権代表9回。1995年アジア選手権優勝



カノウトモヤ  
狩野 智也

50才/173cm/62.0kg (群馬)

2008年ジャパンプロツアー (JPTの前身) 総合優勝、2011年ジャパンプロツアー富士ヒルクライム優勝、2020年JBCF東日本トラック ポイントレース3位



マンセボ ベレス フランシスコ  
MANCEBO PEREZ Francisco

47才/175cm/65.0kg (スペイン)

2005年ツール・ド・フランス総合4位、ブルエルタ・エスパーニャ総合3位、2019年ロンダ・フィリピナス個人総合優勝、2020年JPT経済産業大臣旗優勝、2021年播磨中央公園クリテリウムDay1優勝、広島さくらロードレースDay1優勝、2021年おおいたアーバンクラシック優勝、2022年まえばし赤城山ヒルクライム優勝、2023年経済産業大臣旗チャンピオンシップロード優勝。



トリビオ アルコレア ホセ ビセンテ  
TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente

37才/175cm/64.0kg (スペイン)

ブルエルタ・ア・エスパーニャに3度出場。2013年、2014年、2016年、2017年、2021年 JPT個人総合1位。2019年赤城山ヒルクライム優勝、2020年おおいたサイクルロードレース優勝、2021年Jプロツアー播磨中央公園クリテリウム優勝、広島さくらロードレース優勝、ツアー・オブ・ジャパン第2ステージ優勝、2022年かすみがうらロードレース優勝、ツール・ド・おきなわ3位



ノハレス ニエト エドガー  
NOHALES NIETO Edgar

37才/172cm/57.0kg (スペイン)

2022年SanFabianCyclingClassi優勝。2021年LEAPPCupOvera優勝。2018年TourSouthVietnamステージ優勝。2018年Tour de Singkarak ステージ2位。2017年TourdeFloresステージ優勝



コモリ リョウヘイ  
小森 亮平

35才/180cm/68.0kg (広島)

2008年 全日本選手権 U23 優勝。2009年、2010年 世界選手権U23 日本代表、2017年 Tour de Selangor 総合3位、The Princess Maha Chackri Sirindhorn's Cup 'Tour of Thailand 総合10位、2019年全日本選手権ロードレース17位、2021年JPT西日本ロードクラシック優勝、経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ3位



バグラス ゲオルギオス  
BOUGLAS Georgios

32才/181cm/70.0kg (ギリシャ)

2023年、2022年、2014年ギリシャ選手権ロードレース優勝。2019年、2018年Tour of Qinghai Lake ステージ優勝。2021年In the footsteps of the Romans ステージ優勝。2023年TOJ京都ステージ優勝。その他UCIレースでのポディウム多数、トラックレースでも多くのポディウムに立っている。



ヤスハラ ダイキ  
安原 大貴

32才/175cm/62.0kg (大阪)

2015年JPT榊池 高原ヒルクライム3位、2018年JPT東日本群馬ロード (Day2) 4位、2019年西日本チャレンジロード優勝、2021年JPT個人 総合9位、2022年JPT播磨中央公園ロードレース5位



ハシモト リョウスケ  
橋本 凌甫

31才/168cm/75.0kg (和歌山)

2015年JBCF西日本/東日本トラック2大会連続スプリント・ケイリン優勝。2015年国民体育大会スプリント優勝。



コバヤシ マリノ  
小林 海

29才/173cm/64.0kg (埼玉)

2016年全日本選手権ロードU23優勝、全日本選手権タイムトライアルU23優勝、GP Tetuan (スペイン) 優勝、2019年ツアー・オブ・ジャパン新人賞3位・総合8位、全日本選手権ロードレース 7位、2022年TOJ山岳賞、個人総合5位、TDK個人総合3位、JPT6勝 (6月までの7戦中/6勝)





**サノ ジュンヤ**  
**佐野 淳哉**

41才/179cm/80.0kg (静岡)

2014年全日本選手権優勝。2016年全日本選手権タイムトライアル2位。JBCFタイムトライアルチャンピオンシップ3位、2017年全日本選手権タイムトライアル2位、JBCFタイムトライアルチャンピオンシップ優勝、JBCFカリストロードレース2位、JBCF輪島ロードレース3位、JBCFおおいのサイクルードレース2位、JBCF経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ優勝、ツール・ド・おきなわ優勝18年ツール・ド・熊野ステージ優勝、全日本選手権ロードレース2位、JBCFタイムトライアルチャンピオンシップ



**タクボ ケンジ**  
**田窪 賢次**

28才/168cm/57.0kg (大阪)

2015年JBCF西日本トラックポイントレース2位。2017年JPTまえばし赤城山ヒルクライム2位、JPT石川ロードレース2位。



**ウエマス カズユキ**  
**植益 和行**

26才/172cm/65.3kg (大阪)

2020年JBCF西日本トラックポイントレース優勝、オムニアム3位、2023年JBCF西日本トラックオムニアム優勝



**マナベ カズユキ**  
**真鍋 和幸**

53才/172cm/65.0kg (香川)

1996年アトランタオリンピック代表。1994年、1997年全日本実業団選手権優勝。2011年東日本実業団ロード2位。



**ナガラ ダイセイ**  
**永良 大誠**

49才/180cm/64.0kg (兵庫)

2014年西日本チャレンジ2位、2013年石川ロードレース8位

